

別紙

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

| | |
|---|-------------------|
| 名称：株式会社 マスネットワーク | 所在地：長野県松本市中条 1-14 |
| 評価実施期間：平成 29 年 8 月 1 日～平成 30 年 3 月 16 日 | |
| 評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） 050192 060861 060672 050231 | |

2 福祉サービス事業者情報（平成 30 年 3 月現在）

| | |
|---|--|
| 事業所名：特別養護老人ホーム 紅林荘 (施設名) | 種別：介護老人福祉施設 短期入所生活介護 |
| 代表者氏名： 理事長 油井 博一 (管理者氏名) 施設長 名取 和夫 | 定員 (利用人数)：80 名 併設 短期入所生活介護 4 名 |
| 設置主体：社会福祉法人 ジェイエー長野会 経営主体：社会福祉法人 ジェイエー長野会 | 開設 (指定) 年月日： 平成 14 年 12 月 16 日 |
| 所在地：〒399-0211 長野県諏訪郡富士見町富士見 3107 番地 2 | |
| 電話番号：0266-61-2080 | FAX 番号：0266-61-2081 |
| ホームページアドレス： http://www.ja-naganokai.or.jp/ | |
| 職員数 | 常勤職員： 45 名 非常勤職員 10 名 |
| 専門職員 | ・介護福祉士 25 名 ・看護師 6 名 |
| | ・社会福祉士 1 名 ・理学療法士 1 名 |
| | ・管理栄養士 1 名 ・調理師 5 名 |
| 施設・設備 の概要 | (居室数) (設備等) 個室 4 室 2 人部屋 2 室 4 人部屋 18 室 短期 2 人部屋 2 室 浴室 (個室/機械浴室) 食堂兼機能訓練室 静養室 医務室 |

3 理念・基本方針

《理念》

わたしたちは、利用される方々が長年大切にされてきた「思い」「もの」「生活」を尊重し、その人らしい暮らしの実現を目指します。

《基本方針》

- わたしたちは、利用される方ひとりひとりに何が必要かを見極め、紅林荘での生活が楽しく生きがいに溢れたものとなるよう支援します。
- 日々、利用される方やご家族としっかり向き合い、その思いや望みをつかみ、それを全スタッフが共用し、実現に向けて最善を尽くします。
- 「紅林荘介護マニュアル」を繰り返し学ぶことで自己流のケアに陥らないように努めます。
- ご家族や地域の方々、福祉を学ぶ学生さん等が大勢訪れていただける、明るく開放感のある場所となるよう努力します。
- わたしたちは、利用される方やご家族から信頼していただけるスタッフとなるよう、スタッフ同士の信頼関係を構築し、常に相手の立場に立ち考えることを忘れず、チームワークを大切にします。
- 自分の役割を考え、行動し、向上心を持ち、そして謙虚に日々の仕事を行っていきます。また、自身の健康管理をし、健全な心と体であるよう努めます。

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

- ◎ 当施設は、平成 14 年に地元市町村、地元 J A、協力病院である富士見高原医療福祉センターの協力を得て、美しいみどりに囲まれ四季の変化が楽しめる恵まれた環境に位置しており、地域に信頼される施設づくりを目指しています。
- ◎ ご利用者様には、なるべく四季を感じていただけるよう季節にちなんで行事(お花見・山菜の天ぷら会・迎え火送り火・敬老会・初詣・どんど焼きなど)を企画しています。また、日々の活動では、個々の状態に合わせて参加していただけるレクリエーションを企画しています。
- ◎ 年間を通じて外出デーとして、ドライブに出かけたり、外食を楽しんだりと積極的に地域へ出掛ける機会も作っています。
- ◎ 数多くの行事・レクリエーションを企画する中で、月に 1 回「丁内会」と称したご利用様の意見等を伺う場を設け施設の運営に反映させています。

5 第三者評価の受審状況

| | |
|---------------|---------------|
| 受審回数（前回の受審時期） | 4 回（平成 26 年度） |
|---------------|---------------|

6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

◇特に良いと思う点

<「基礎介護マニュアル」を活用した支援>

「基礎介護マニュアル」を作成し、基本姿勢・具体的な項目が詳細に整備されており、職員として習得すべき知識や標準的な実施方法が文章化されている。マニュアルは、接遇・ビジネスマナーから始まり、北欧式トランスファーまで 12 の項目に分類されており、具体的な内容となっている。

また、利用者に対しての姿勢として、プライバシーの保護、尊厳を守ることが明示されている。

「基礎介護マニュアル」の教育プログラムの流れがあり、全職員が、自己評価・他者評価を受ける仕組みができており、全プログラムに関して評価結果をまとめ、内容の見直しを行うなど、サービスの質の向上に向けた取り組みがされている。さらに、教育プログラムの成果等について、施設長、科長の個別面談があり、職員の知識・技術等の向上にもつながっている。

<食事の提供に関する取り組み>

利用者から「食事がおいしい」と評判が良い。給食委員会では、食事形態、補助食、食事に関するケア、衛生面等の評価・見直しを行っている。また、給食業務は職員で賄われ、暖かく、おいしい食事を細やかな対応により提供されている。陶器、軽量化した食器の利用等で自力摂取を促す取り組み等利用者個々に応じた食事の提供に努めている。季節毎に行事バイキングを行っている。特に、嚥下の不安な利用者にも楽しく、おいしく食べられるよう、ウナギのかば焼き、釜めし、栗鹿の子等を調理の原形を保ち、見た目、香り、味を同じに作りソフト食として提供している。家族会では、形態別に食事を展示・説明を行い、だし巻き卵のソフト食の試食会をして、利用者・家族に管理栄養士が説明をしている。より安全においしく食べられる食事の提供を目指している。

◇改善が求められる点

<総合的な人事管理>

人事基準には採用・異動・資格手当・責任手当等明確に定めて規程集にまとめられ、施設長から説明があり、職員は何時でも閲覧でき周知されている。今後、紅林荘の理念・基本方針を踏まえた「期待する職員像」を明確にされ、ジェイエー長野会で現在試行中である職員の育成・活用・処遇・評価等のトータル人材を踏まえた上で、職員の意向や希望を把握し、自ら将来の姿を描く事ができるような人事管理の取組みを期待する。

<地域に向けた取組み>

ジェイエー長野会として、“豊かで安心して暮らせる地域福祉の拠点”を目指して、事業展開を行っており、地域との関わりや連携に取り組んでいる。ボランティアや実習生、中・高校生の職場体験の受け入れや、夏祭りや御柱祭りを開催しての交流など積極的に行っている。さらに、事業所の専門性を活かして、地域住民の生活に役立つ講習会や介護相談等、地域ニーズを検討しながら取り組まれることを期待したい。

7 事業評価の結果（詳細）と講評

共通項目(別添1)

内容評価項目(別添2)

8 利用者調査の結果

聞き取り方式の場合(別添3-2)

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント

(平成30年3月22日記載)

今回の第三者評価の受審は4回目となります。前回の受審以来、改善が求められる点を重点に利用者満足度向上に取り組んできましたが、まだ好評価を頂くに至っていない点もある事が明確となりました。また、今回の受審で自分達では気が付かない課題等が新たに明確になった事も非常に有意義でした。今後は改善が求められた項目を施設運営の目標に組み入れ好評価となるような取組みを全職員で行い、さらなる質の向上・利用者満足度の向上につなげてまいります。

さらに、今回の受審で良い評価を頂いた項目については、全職員の励みとし、施設の特徴として活かしながら継続し、さらなるサービスの向上につながるよう一層努力をしております。

特別養護老人ホーム 紅林荘
施設長 名取 和夫